

講話 = in 日本山岳会 (三水会)

富士山麓古代物語と

丹沢あれこれ

田中文夫

2019年11月20日 (水)

日本山岳文化学会 正会員

日本山岳文化学会

日本学術会議協力学術研究団体

山岳に関する幅広い研究活動と大会発表

論集、機関紙、会報を発行

設立：2003年3月

会員数：300余名

丹沢山麓 山岳文化講座等

中村純二先生と・春・夏・秋 ⇒ 計10回

第1回目 → 2014.年2月19日 in おおすみ山居



第10回目 → 2018年10月20-21日 in 作治小屋



設計作品 (株)国設計) 建築設備士68歳で引退
< 電気設備担当 >



神奈川県立歴史博物館



横浜港シンボルタワー (航路標識)



金沢シーサイドライン本社 & 車輛基地



かながわアートホール (音楽ホール)

田中文字夫 < ◆著作・印刷物 >

◆ **青春のヒマラヤに学ぶ** (2001年) **文芸社**

◆ **頂のかなたに** (2003年) **日本文学館**



• **若き日の山々** (2014年)

• **老いの道標** (2014年)

• **登山の総合人間学** (2015年) **国立国会図書館蔵書**

• **登山の生態分類(学)** (2016年) **国立国会図書館蔵書**

• **山の空気 森のざわめき** (2017年) **国立国会図書館蔵書**

• **山と美の終焉** (2017年) **国立国会図書館蔵書**

• **雑学 日本文明物語** (2018年) **国立国会図書館蔵書**

• **烏尾山 仲尾根物語** (2018年)

• **丹沢山麓 山岳文化集** (2018年) **国立国会図書館蔵書**

共著=中村純二・あや、田中文字夫、岩楯岳一・志帆、 編集=田中文字夫

• **複雑学 日本文明物語 & 哲学** (2019年) **英文対訳中**

1960、大野中学校社会部



社会クラブ 大塚山古墳発掘に参加しました

平塚市立 **大野中学校 社会部** 部長を務める
(卒業アルバムより)

1,960年 = 中学3年生の時

真土大塚山古墳発掘に参加



勾玉(平塚市HP)



三角縁四神二獣鏡

鏡 = 太陽神の象徴



〈水無川 作治小屋〉



〈おおすみ山居〉



〈四之宮 前鳥神社〉



〈真土大塚山古墳〉



〈神明神社=大塚山古墳跡〉



〈真土神社〉



〈真土神社参道~大山〉



〈四之宮前鳥神社~大山〉



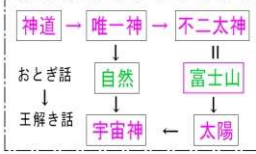
〈一之宮 寒川神社〉



〈田村の渡場跡の碑〉



〈寒川神社16菊花紋〉



古代水系 = 不二山→宇宙胡→寒川→古国川→桂川→相模川
 現代水系 = 富士山→山中湖→桂川→相模川



富士山麓・高天原 富士吉田
 BC210年頃～徐福一族定着=『徐福伝』
 富士浅間神社 阿祖山太神宮
 『宮下文書』(写書)保存
 (応神天皇第2皇子)
 大山守命=「宮下」を名乗り定住
 『徐福伝』に追記する～『宮下文書』

富士山 (富士講=日本全国)
 AD800年(延暦19年)大噴火
 御殿場市 800年の富士山大噴火で相模国へ避難

『文明』は、水の流れのごとく自然の摂理に則り、「進化」の一方方向を進む非可逆性。
 『文化』は、文明の流れの淵で「淀み」、自然の摂理に「同調」と「抵抗」する人間の美感により、個性は喜びを見出し、類は友を呼び多種多様な自己組織化を図る。

- みやしたもんじょ 『宮下文書』
- ※ 寒川神社保管の正書は1,282年の氾濫により流失
 - ※ 写書は阿祖山太神宮にて保存
 - ・高天原信仰
 - ・中国神話(神農)
 - ・徐福伝説
 - ・朝廷から伝わった～神話、伝説
 - ・御師(おし)伝承
 - ・地誌
 - ・南朝伝説
 - ・富士講

うじのわきいらっこのみこと 菟道稚郎子命=漂着
 (応神天皇第6皇子)
 〈4世紀始め～半ば?〉
 (日本海溝 → 相模トラフ先端)
 〈フィリピン海プレート北東端〉

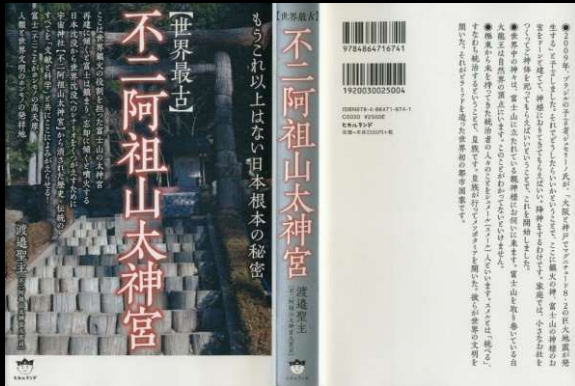


↑
山中湖

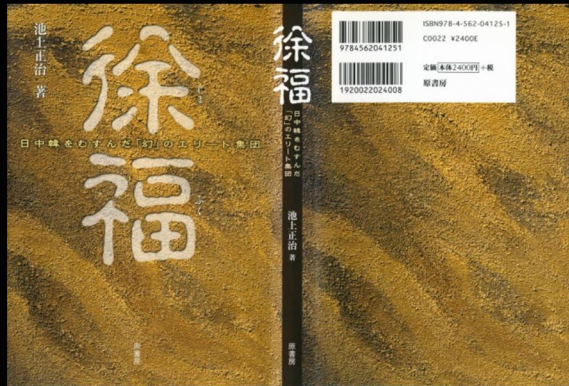
檜洞丸山頂から富士山と山中湖

撮影 = 高田篤

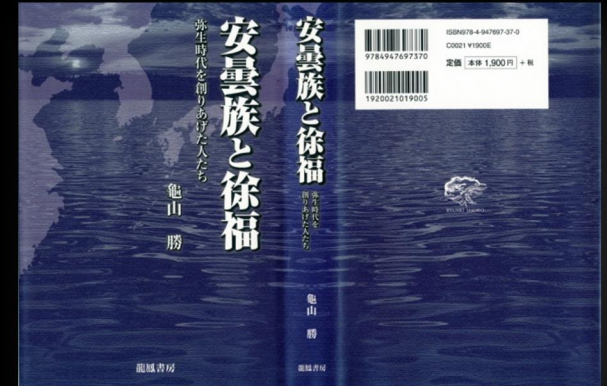
不二阿祖山太神宮
 富士山の**鬼門**に配置
 富士山噴火鎮静のため



徐福 = 渡来 (BC219年)
 老若男女5,000人と百工
 九州:佐賀:有明~金立山

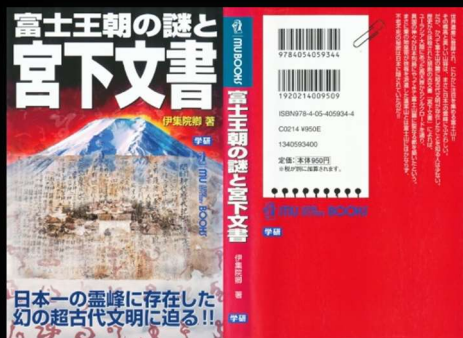


安曇族と徐福(蓬莱山・百工)
 安曇族 = 水田稲作: 鉄器
蓬莱山 = 安曇野: 穂高



富士山麓古代物語 ~ 資料

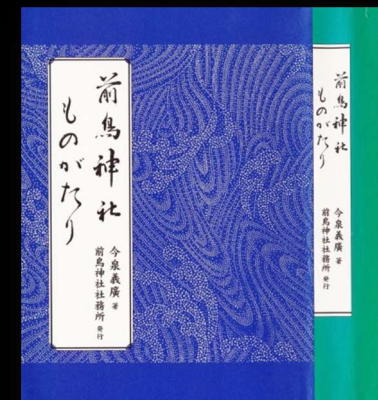
徐福 ~ 終焉の地
蓬莱山 = 不死山 = 富士山
大山守命 → 宮下 → **宮下文書**



徐福(秦)一族と相模國
蓬莱山 = 丹沢山塊
秦野 = 秦 一族定住の地



菟道稚郎子命伝承
 相模國第四宮 = 前鳥神社
 15菊花紋と真土大塚山古墳



富士山麓古代物語

① 富士山麓高天原伝承・・・神代

超古代王朝神話 = 富士吉田～忍野 ← 『徐福伝』に残す

じよふく

② 徐福伝承と宮下文書・・・BC200～4世紀

あそやまたい じんじゃ おおやまのりの みこと
阿祖山太神社（山宮）← 大山守命（応神2男）宮下文書
AD 800年 → 富士山大噴火 → 避難（秦野～寒川）
寒川神社（里宮）← 相模國第一宮 ← 16菊花紋

うじのわきいらっこの みこと

③ 菟道稚郎子命伝承・・・3～4世紀

相模國第四宮 ← 前鳥神社・大塚山古墳（応神6男）
応神天皇の立太子（自害）→ 応神4男が16代 = 仁徳天皇
前鳥神社紋章 = 15菊花紋、天皇家紋章 = 16菊花紋

※ 弘法大師伝承はその後・・・8世紀末

① 富士山麓高天原伝承・・・神代

① 天神7代・・・次スライド参照

地神5代・・・次スライド参照

ユーラシア大陸降臨
原初の神 = 伏羲 = (神農)

(ふぎ)

② 富士山信仰 = 富士本源論 < 農作比古尊 >

・ 富士山は宇宙の起源 → 富士山 天上界 = 蓬莱山高天原天都洲

(始原の神)

・ 富士山は日本の中心 → 地形、神話

・ 天神渡来 (天神7代) → 地神伝承 (地神5代) → 九州・高千穂
～遷都 (うがやふきあえず朝、神皇2, 741年) → 人皇 (神武天皇)
< 大和へ遷都 >

③ 富士山 = 阿祖山 → 阿祖山太神宮 (世界最古の神宮)

・ アソ = アイヌ語「燃える山」 = 活火山 → 阿祖山 = 不二 = 不死

・ 高天原宗廟天社大宮阿祖山太神社 → 阿祖山太神宮
← 天照大神が創建 ← 歴代高天原王朝で即位式

↓
富士

・ 宮司 → 宮下家が代々務める

富士高天原王朝系図

みわよしひろ

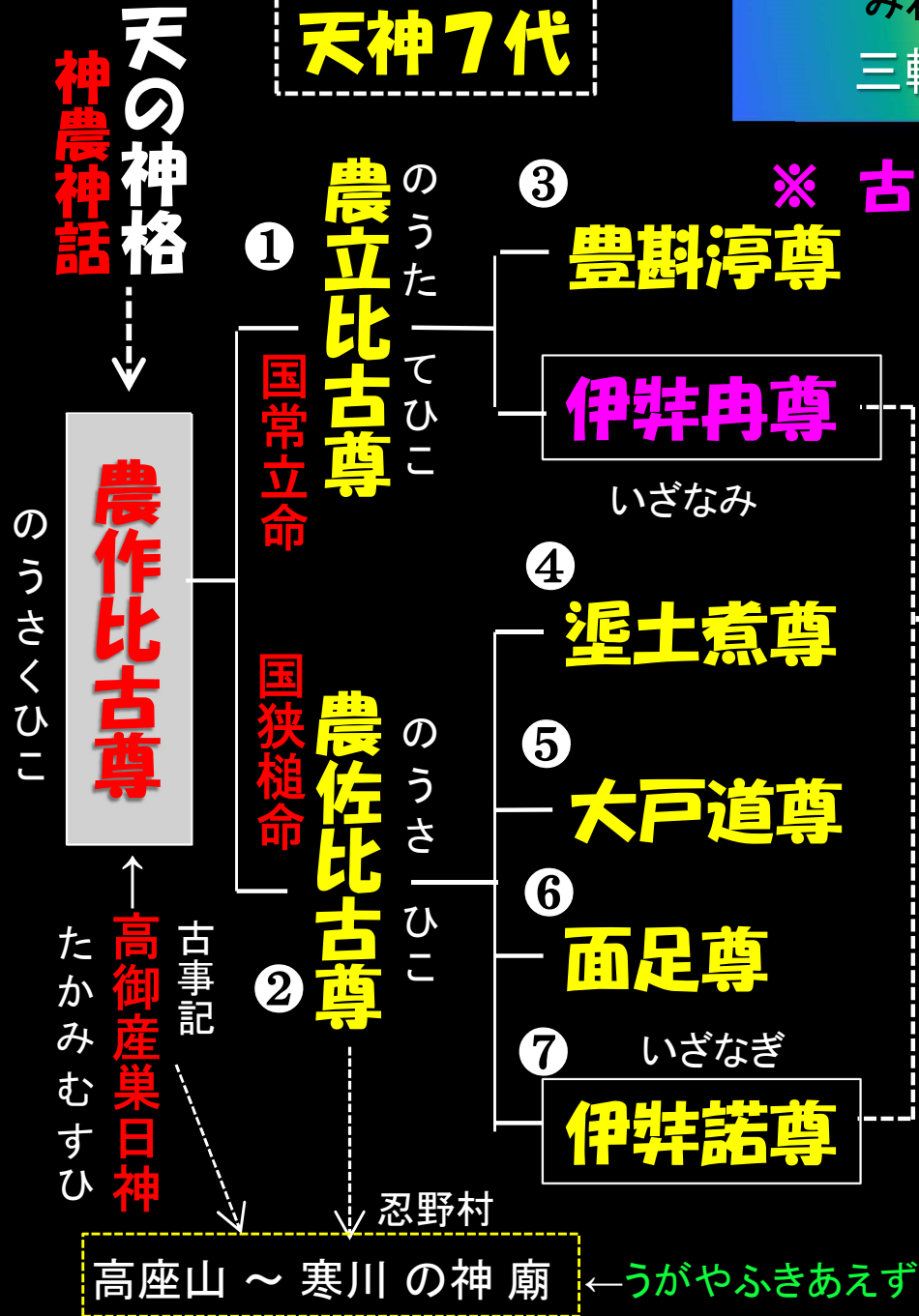
「神皇紀」 じんのうき

三輪義熙・編、宮下文書ダイジェスト版、大正時代

< 天祖降臨 >

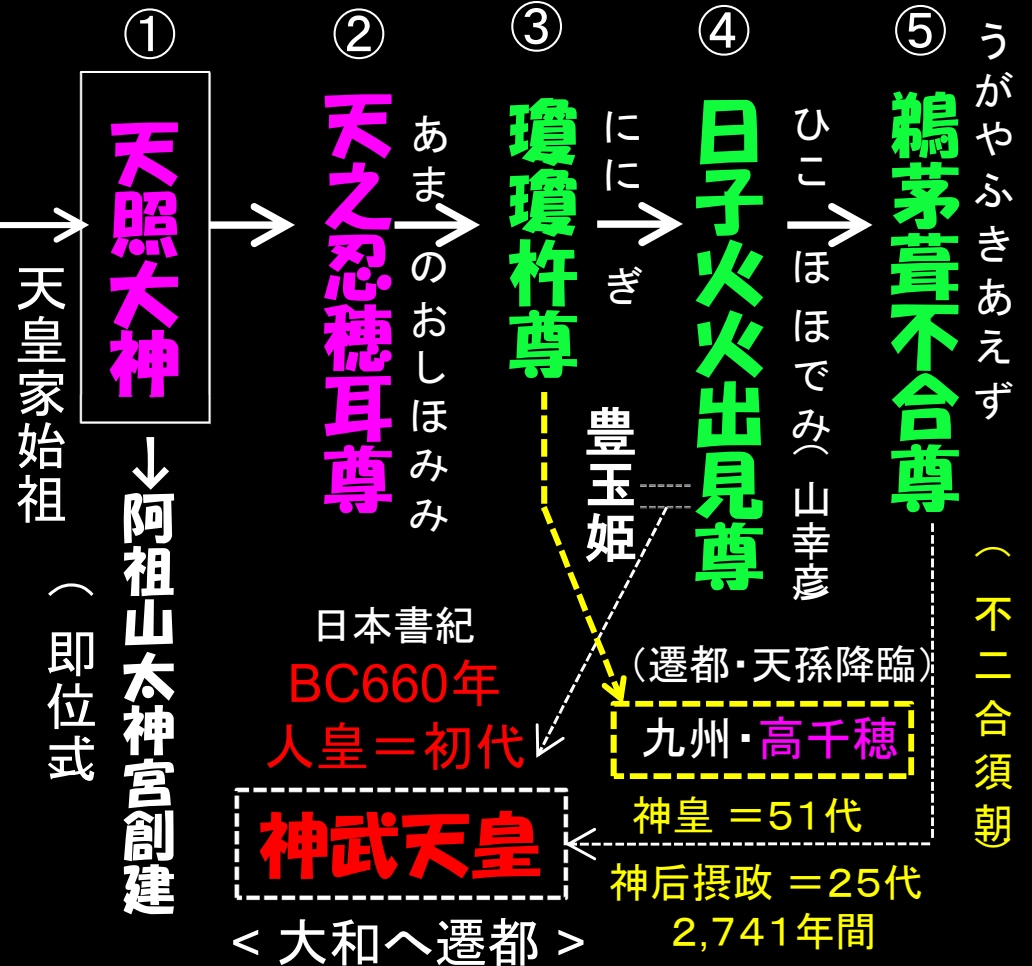
天神7代

※ 古事記、日本書紀は富士高天原王朝を抹消



< 天孫降臨 >

地神5代



② 徐福伝承と宮下文書 ・ ・ ・ BC200～4世紀

じよふく

〈 秦の始皇帝の命 〉

① **BC219年 徐福 渡来** = 不老長寿の薬草探しの命 → **蓬莱山**

中国 → 九州・佐賀 → 日本各地 (安曇野) → **富士山麓・終焉の地**

・ 始皇帝崩御により**日本帰化** → 富士山麓古代神話を記録 = 「**徐福伝**」

・ **神仙思想** → 不死の薬草 (**蓬莱山**) → **不死山** → **不二山** → **富士山**

② **富士山** = 阿祖山 ← **阿祖山太神宮** ← **山宮**

あそやまたいじんぐう

③ **大山守命** (応神2男) → 阿祖山守護の勅命 → 「**徐福伝**」研究
阿計日登王 (あけひとおう)
→ 宮司の娘を娶い「**宮下**」を名乗る

・ **研究成果** → 「**宮下文書**」 → 写本が繰り返される (写本正書)

・ **AD 800年・富士山大噴火** → **宮下文書** → **寒川神社**を祀る
(第26代 宮下源太夫元秀)

・ **寒川神社** (里宮) ← **相模國第一宮** ← **16**菊花紋

・ **AD 1,282年・相模川氾濫** 「正書」流失 → 写本は**山宮**保存

③

菟道稚郎子命伝承

うじのわきいらっこ

・・・ 3~4世紀

< AD 300年前後 >

< 第15代 **応神天皇** 没後 >

第2皇子 ・ ・ ^{おおやまもり}**大山守** (反乱→殺害) → 富士山麓 → **宮下文書**

相模國第一宮 ・ **寒川神社**保存 ← AD800年 **富士山噴火**
(16菊花紋)

第4皇子 ・ ・ ^{おおさざき}**大鷦鷯** → 第16代 **仁徳天皇** AD310年

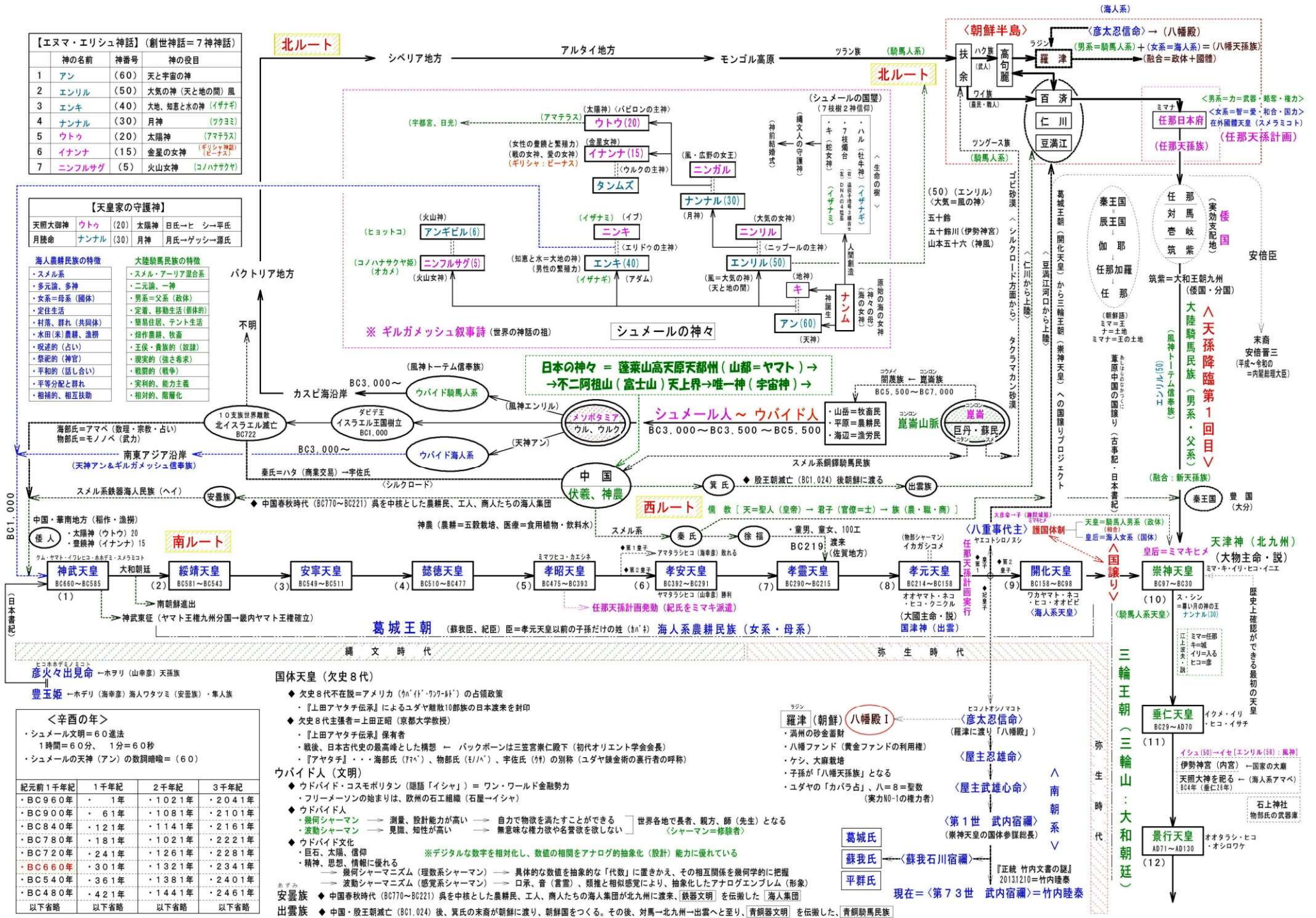
← 皇位の譲り合い ← **謙讓の美德** (日本人の心)

第6皇子 ・ ・ ^{うじのわきいらっこ}**菟道稚郎子** (立太子自害) → 相模國第四宮 **前鳥神社**
(15菊花紋)

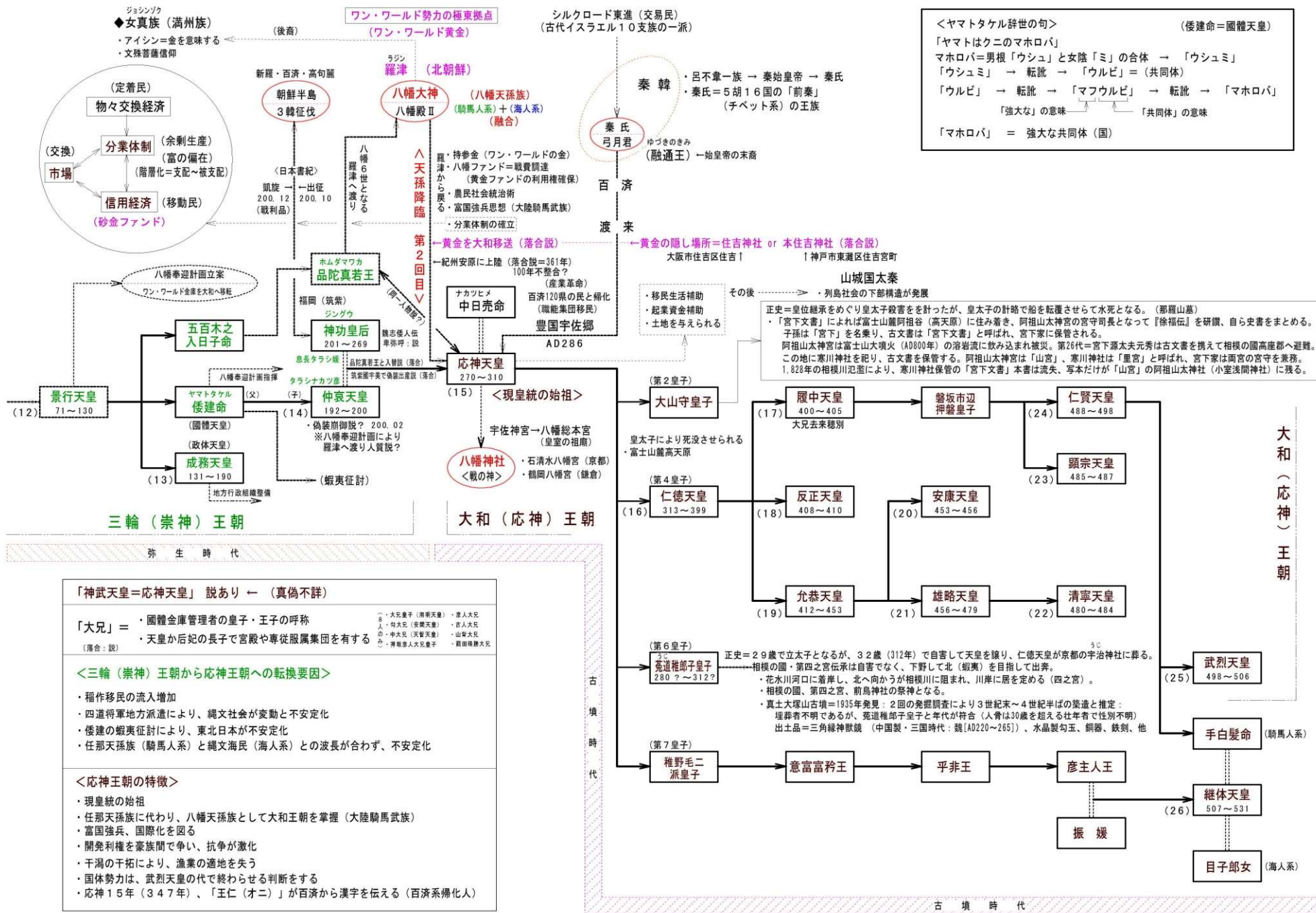
1960年(中3)社会部の時、発掘調査参加 → **真土大塚山古墳**

富士山 ← 真西

天皇の系図-1 (神武天皇~景行天皇)



天皇の系図-2 (景行天皇～継体天皇)



<ヤマトタケル辞世の句> (倭建命=國體天皇)

「ヤマトはクニのマホロバ」
 マホロバ=男根「ウシュ」と女陰「ミ」の合体 → 「ウシュミ」
 「ウシュミ」 → 転訛 → 「ウルビ」= (共同体)
 「ウルビ」 → 転訛 → 「マフウルビ」 → 転訛 → 「マホロバ」
 「強大な」の意味 ← 「共同体」の意味
 「マホロバ」 = 強大な共同体 (国)

「神武天皇=応神天皇」説あり ← (真偽不詳)

「大兄」= 國體金庫管理者の皇子・王子の呼称
 ・天皇か后妃の長子で宮殿や専従服属集団を有する
 (融合: 説)

<三輪 (崇神) 王朝から応神王朝への転換要因>

- ・稲作移民の流入増加
- ・四道将軍地方派遣により、縄文社会が変動と不安定化
- ・倭建の蝦夷征討により、東北日本が不安定化
- ・任那天孫族 (騎馬人系) と縄文海民 (海人系) との波長が合わず、不安定化

<応神王朝の特徴>

- ・現皇統の始祖
- ・任那天孫族に代わり、八幡天孫族として大和王朝を掌握 (大陸騎馬民族)
- ・富国強兵、国際化を図る
- ・開発利権を豪族間で争い、抗争が激化
- ・干潟の干拓により、漁業の適地を失う
- ・国体勢力は、武烈天皇の代で終わらせる判断をする
- ・応神15年(347年)、「王仁(オニ)」が百済から漢字を伝える (百済系帰化人)

天皇の系図-3 (継体天皇~天智天皇)

<仏教の日本化>
行基 → 神仏同体奏上 (聖武天皇724~749)
本地垂迹説 → 日本諸神とインド諸仏との和親
※ その後 → 寺院に僧侶が立てこもり、經典を読み、道理を説き、行化一変して学問となり、宗論に没する。
※ 宗教改革 → 法然、親鸞、道元、日蓮

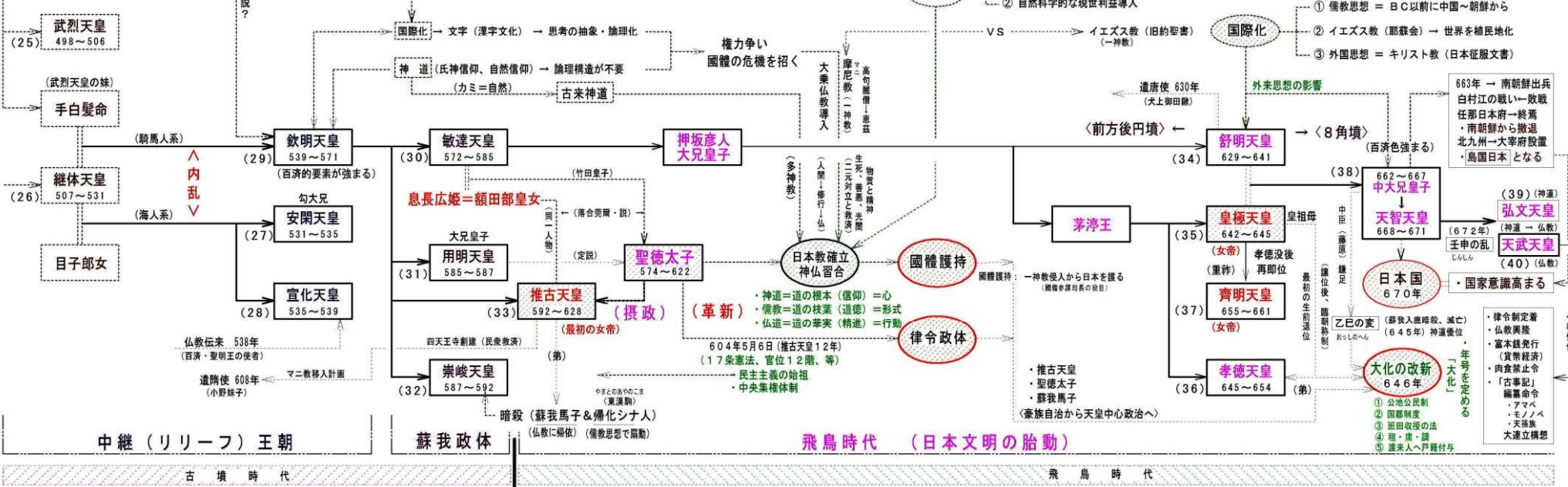
<17条憲法>
一に曰く、和(わが)を以て貴しと為し、忤(たが)ふることを無きを宗とせよ。
人皆貴(たが)有り、また達(た)れる者は少なし、或いは君父(きんちち)に順(したが)らざる。
乍(た)隣里(りんり)に違(たが)う。
然れども、上(かみ)和(わが)ぎ、下(しも)睦(む)びて、事を論(わが)うに諧(けが)うときは、すなわち事理おのづから通ず。
何事か成らざらん。

ラジン
羅津 (北朝鮮) ← ワン・ワールド勢力の極東拠点
八幡天孫族 (八幡天孫族)
(騎馬系系)+(海人系)
(融合)

阿刀氏 西域 → シルクロード →
→ 魏・晋南北朝時代 (2=6世紀) に中華本部入り
・ウバイド・コスモポリタン → 修験: サエキ
・渡来目的 = 欽明王朝の国際化 (大乘仏教輸入 ~ 摩尼教)

荘園
神仏習合
密教寺院
密教
日本教

国際化
① 庄園経営による鎮護国家の現実的政治体制
② 自然科学の現世利益導入
・遣隋使 (608 = 小野妹子 ~)
・遣唐使 (630 = 犬上御田飯 ~)
① 儒教思想 = BC以前に中国 ~ 朝鮮から
② イエズス教 (耶穌会) → 世界を植民地化
③ 外国思想 = キリスト教 (日本征服文書)



前近代 ← 近・現代 (国体=天皇、政体=天皇/武士/民) (天皇制民主主義の始まり)

・「古事記」... 天武天皇の命令 → 完成=712年、編纂=稗田阿礼→太臣安万侶 (村松 尚江) ← 欠史8代主流「多氏 (村松) 」の未裔

・「日本書紀」... 完成=720年、編纂=舎人親王 (藤原氏による天皇系統の確立 ← 藤原鎌足=鹿島出身の海人族)

※ 古事記、日本書紀は、富士山信仰を消し去る (日本の神々 = 蓬萊山高天原天都州 (山都=ヤマト) → 不二阿祖山 (富士山) 天上界 → 唯一神 → 唯一神 (宇宙神) → 中国 (伏羲、神農) → 崑崙 → ウバイド・シュメール → 阿祖山 (太神宮))

・丹後半島 → **海部** (アマベ) が丹後半島に上陸 → 近畿内陸部へと至リイセ (伊勢) を広める (オリエント多神教)

・丹後国独立 → 独立=713年 ← 丹後アヤタチの日本潜入作戦が一段落
 ・アベのカバネ買収と祖先統合 → 「海部直」になる ← 丹後海部直 (アヤタチ)

・ユダヤ浸透 → **海部** → 海部直 (丹後アヤタチ)

・神道勢力 → **物部** → 河内国 (モノノベ、アユタチ) → 神武天皇の宮廷ユダヤ人 ← 欠史8代に仕える (傭兵統率、モノノベ神道、波動治療)
 宇佐 → 婚姻ユダヤ (在住日本人) → 宇佐八幡

・蘇我氏 → 第1世 竹内宿禰 → 蘇我石川宿禰 → 蘇我満智 → 蘇我韓子 → 蘇我高麗 → 蘇我目目 → 堅塩媛=欽明天皇

・蘇我氏 (蘇我勢力)
 蘇我氏が滅び、藤原氏が栄える (中臣鎌足=藤原鎌足-藤原氏の始祖)
 蘇我入鹿 (大臣) → 蘇我蝦夷 (大臣) → 蘇我馬子 (大臣) → 推古天皇 (攝政) → 敏達天皇 (大臣)
 中大兄皇子と中臣鎌足らに討たれる (大化の改新前=乙巳の変)
 蘇我馬子 → 蘇我高麗 → 蘇我目目 → 蘇我高麗 → 蘇我馬子 → 蘇我高麗 → 蘇我目目 → 蘇我高麗 → 蘇我馬子 → 蘇我高麗 → 蘇我目目 → 蘇我高麗 → 蘇我馬子

宗教

- ・神を信仰 → 一神教 → ユダヤ教、キリスト教、イスラム教
- ・多神教 → ヒンドウ教、古代 (メソポタミア、エジプト、ギリシャ、他)
- ・ヒンドウ教 (カースト制 = 「輪廻」思想によりカーストの再生産)
- ・自然崇拜 → 神道 → 日本 (八百万の神=主権者) 「カミ (天神)」は「神」の上位概念
- ・自然の全てが「神」になれる → 人間も自然に含まれる
- ・人物崇拜 → 儒教 → 天=聖人=皇帝/君子=官僚 (士)/族 (農工商) = 家族、親族、一族
- ・「天」に代わって「皇帝 (主権者)」が4民 (士農工商) を統治
- ・神道 → 日本 → 天皇 = 天神 (カミ) にして皇帝 (神) たる君主 (主権者)
- ・オカルト → 道教 → 人間、鬼、閻羅王、冥界 → 位牌、仏壇

修行で覚醒

- ・心身修行 → 仏教 → 人間が精進・修行によって悟りに達し (涅槃) → 仏となる
- ・781=806
- ・伝導布教 (行化) から学問化 (桓武天皇時代) → 修験道 → 自然修行
- ・自然修行 → 登山 → 人間が自然体験を通して自然認識・自己認識を高め、受容力を高める

八=8 : ユダヤの聖数 (強さ、実力者、無限大)



相模國

第一宮

寒川神社

第一宮



寒川神社

(寒川町)

第二宮



川匂神社

(二宮町)

第三宮



日比田神社

(伊勢原市)

第四宮



前鳥神社

(平塚市)

第五宮



平塚八幡宮

(平塚市)

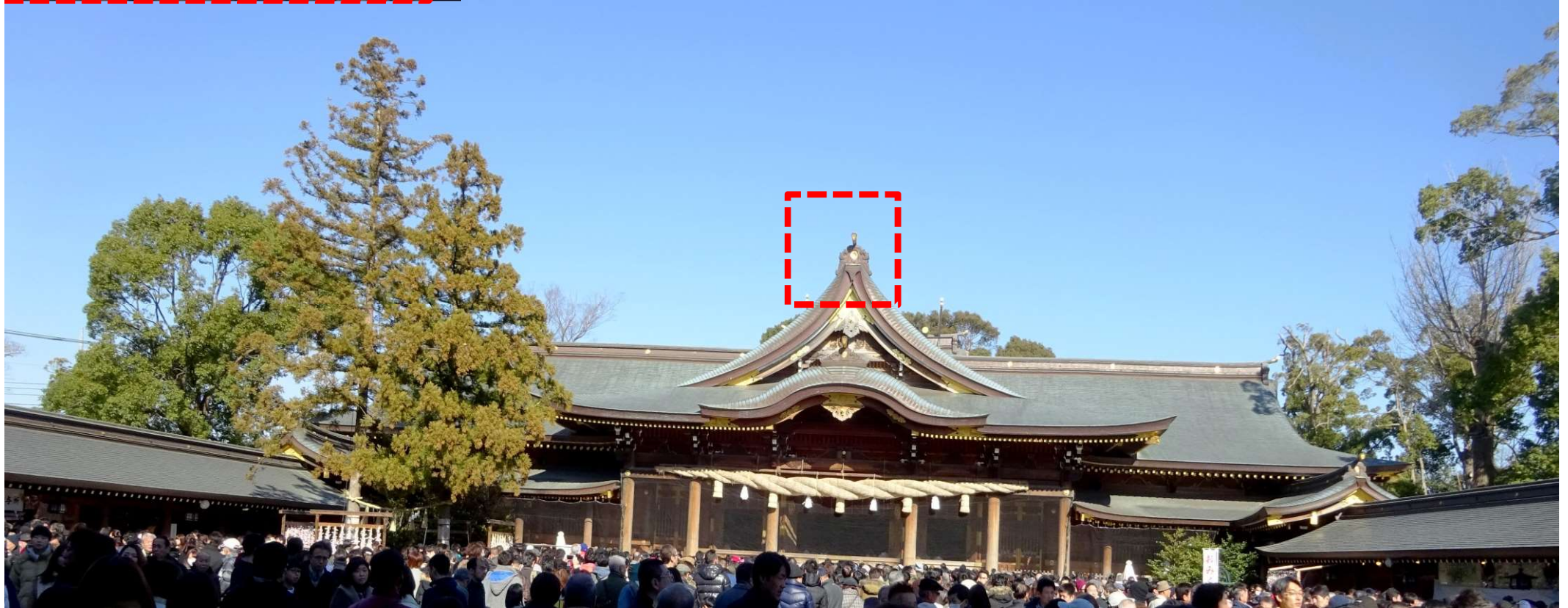
一國一社

總社



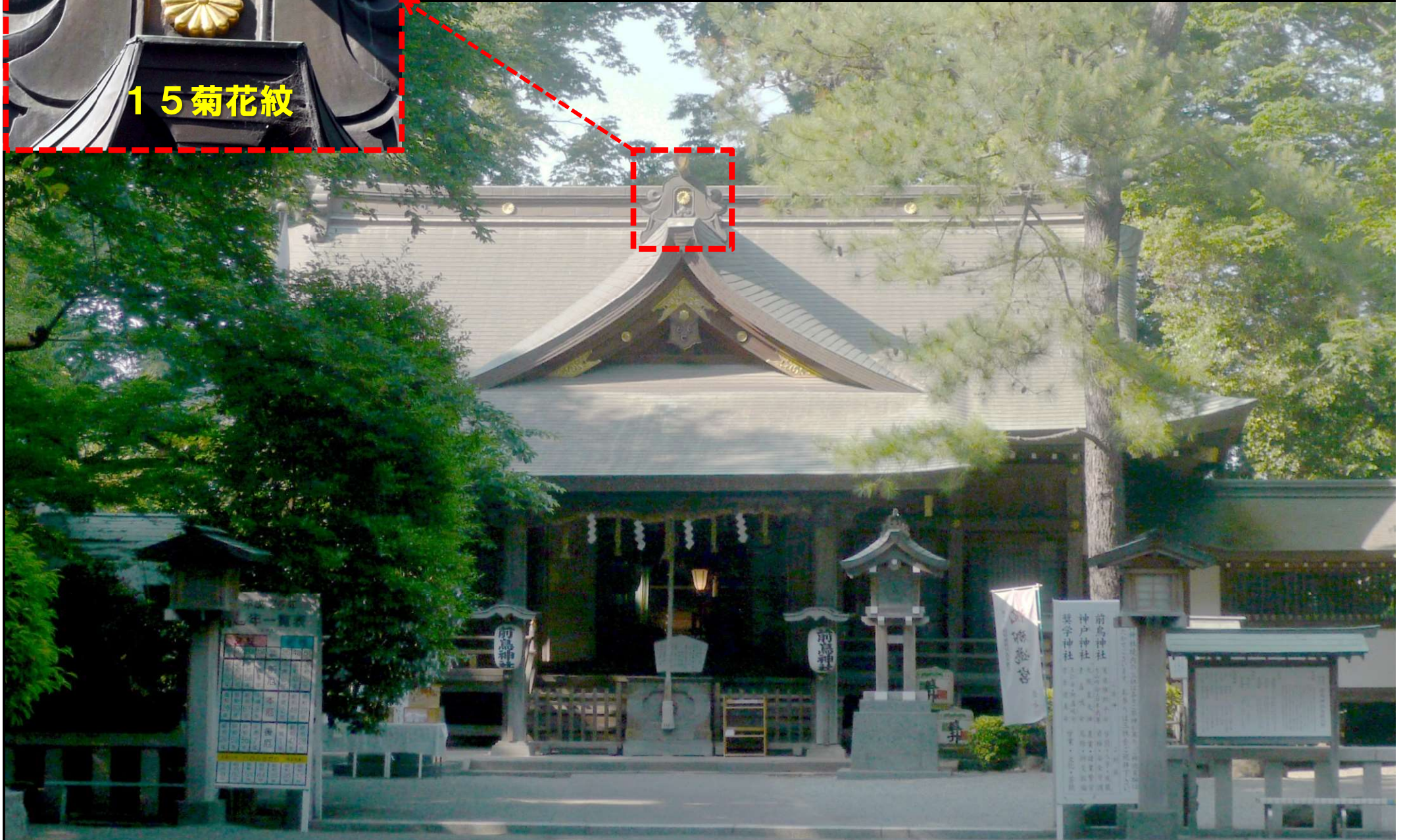
六所神社

(大磯町)



相模國 第四宮 前鳥神社

15 菊花紋





真土大塚山古墳



箱根

富士山

大山

江の島

古墳方位盤



箱根

富士山

塔ノ岳

大山

相模川

旧 = 田村の渡し場



〈水無川 作治小屋〉



〈おおすみ山居〉



〈四之宮 前鳥神社〉



〈真土大塚山古墳〉



〈神明神社=大塚山古墳跡〉



〈真土神社〉



〈真土神社参道~大山〉



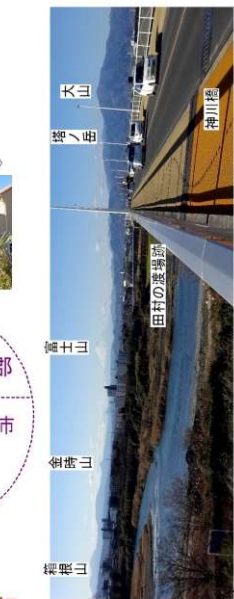
〈四之宮前鳥神社~大山〉



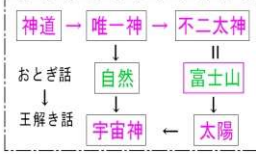
〈一之宮 寒川神社〉



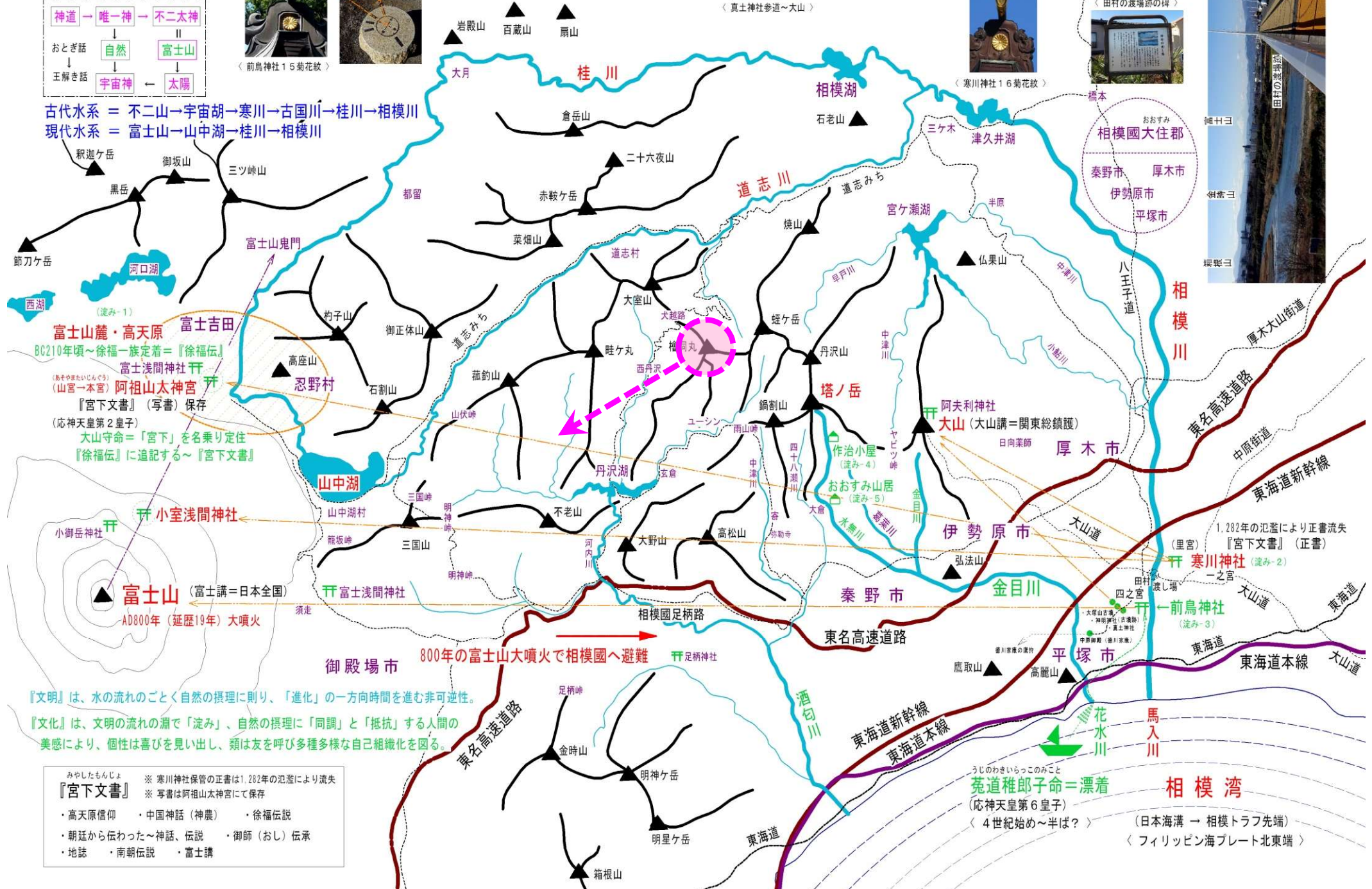
〈田村の渡場跡の碑〉



相模川



古代水系 = 不二山 → 宇宙湖 → 寒川 → 古国川 → 桂川 → 相模川
 現代水系 = 富士山 → 山中湖 → 桂川 → 相模川



富士山麓・高天原 富士吉田
 BC210年頃~徐福一族定着=『徐福伝』
 富士浅間神社 阿祖山太神宮
 『宮下文書』(写書)保存
 (応神天皇第2皇子)
 大山守命=「宮下」を名乗り定住
 『徐福伝』に追記する~『宮下文書』

富士山 (富士講=日本全国)
 AD800年(延暦19年)大噴火

『文明』は、水の流れのごとく自然の摂理に則り、「進化」の一方時間を進む非可逆性。
 『文化』は、文明の流れの淵で「淀み」、自然の摂理に「同調」と「抵抗」する人間の
 美感により、個性は喜びを見出し、類は友を呼び多種多様な自己組織化を図る。

- みやしたもんじょ 『宮下文書』
- ※ 寒川神社保管の正書は1,282年の氾濫により流失
 - ※ 写書は阿祖山太神宮にて保存
 - ・高天原信仰
 - ・中国神話(神農)
 - ・徐福伝説
 - ・朝廷から伝わった~神話、伝説
 - ・御師(おし)伝承
 - ・地誌
 - ・南朝伝説
 - ・富士講

相模國大住郡
 秦野市 厚木市
 伊勢原市 平塚市

1,282年の氾濫により正書流失
 『宮下文書』(正書)

菟道稚郎子命=漂着
 (応神天皇第6皇子)
 〈4世紀始め~半ば?〉
 (日本海溝 → 相模トラフ先端)
 〈フィリピン海プレート北東端〉

丹 沢 あ れ こ れ

- ① 風景写真・・・高田篤氏提供
- ② 一般登山ルート
- ③ 動物、植物
- ④ 水無川 作治小屋・・・太陽光発電LED照明
- ⑤ 水無川 戸川公園と「おおすみ山居」



塔ノ岳からの紅富士 2019.1.14 撮影=高田篤



蛭ヶ岳山頂からの日没 2014. 8. 2 撮影 = 高田篤



富士山から ~ 丹沢とご来光

撮影 = 高田 篤



丹沢主脈とシロヤシオ

2018. 5. 19

撮影 = 高田篤



雪の三ノ塔から ~ 富士山

撮影 = 田中文夫



雪の三ノ塔から ~ 塔ノ岳

撮影=田中文夫



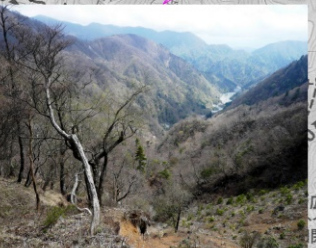
表丹沢の一般登山ルート



つつじ新道からの富士山
 つつじ新道
 丸太橋多
 西丹沢自然教室
 奥碓氷の家
 新田駅からバス
 西丹沢マウンテンキャンプ場
 平日5本、土日8~10本
 夏期7/21~8/31増強あり
 板小屋沢ノ頭
 ヤブ沢ノ頭
 石棚山
 同角ノ頭
 大石キャンプ場
 新碓氷隧道
 大滝キャンプ場



作治小屋を出発（後方=塔ノ岳）



白ヶ岳から蛭ヶ岳方向



塔ノ岳山頂



仲尾根付植林帯を抜ける



仲尾根草付から塔ノ岳方向



仲尾根から大倉尾根越しの富士山



仲尾根草付上部（後方：大倉尾根）



三ノ塔山頂望台

作治小屋宿泊・ビッグコース

2017年

5月4日 = 西丹沢~檜洞丸~白ヶ岳~蛭ヶ岳~丹沢山~塔ノ岳~源次郎尾根下降~作治小屋（泊）

約 28 km

5月5日 = 作治小屋（泊）~仲尾根~烏尾山~三ノ塔~三ノ塔尾根下降~大倉

約 13 km

大倉からバス



積雪=5cm
チェンspbバイク装着



つつじ新道の7+



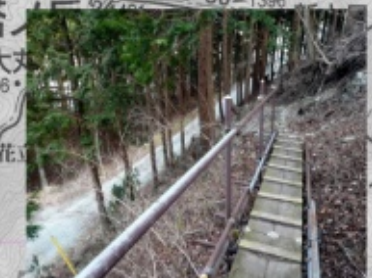
石榭山榎合流点



同角の下り



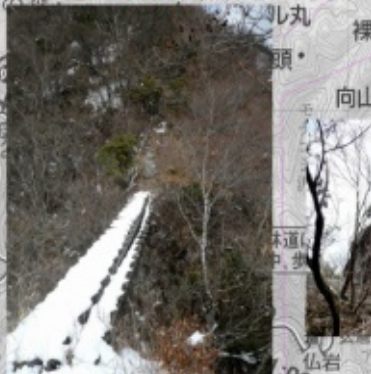
同角の頭



雨山峠越え～玄倉林道と合流



つつじ新道の倒木



ザンザ洞キレットの渡り



大石山の犬岩



ユースン方向を見下ろす



雨山峠を越え～雨山沢を下る



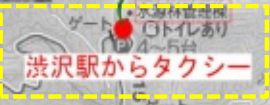
つつじ新道のミツマタ



大石山の下り鎖場



大石山



渋沢駅からタクシー

雨山峠越え～同角山稜～西丹沢 (一日コース)

2017年

3月25日 = 寄沢～雨山峠～ユースン～同角山稜～石榭山稜分岐～つつじ新道～西丹沢

06:50

渋沢駅からタクシー (約3,000-)

くがんぱりコース ()

約 25 km

15:00

新松田行バス = 15:40発

4月15日に会った日本カモシカ





初心者危険

初心者危険

地獄ザリ出合

寄バス停の鯉のぼり

同右=作治小屋拡大

上の草付きから作治小屋(円内)

寄バス停~寄・管理棟~コシバ沢~鍋割峠~鍋割山北尾根下降~尊仏土/平~塔ノ岳西尾根~塔ノ岳~花立~源次郎尾根下降~作治小屋

07:25

07:50~08:00

09:50~10:00

10:40~10:50

12:30

12:55~13:45

14:05

分岐点=09:00~09:10

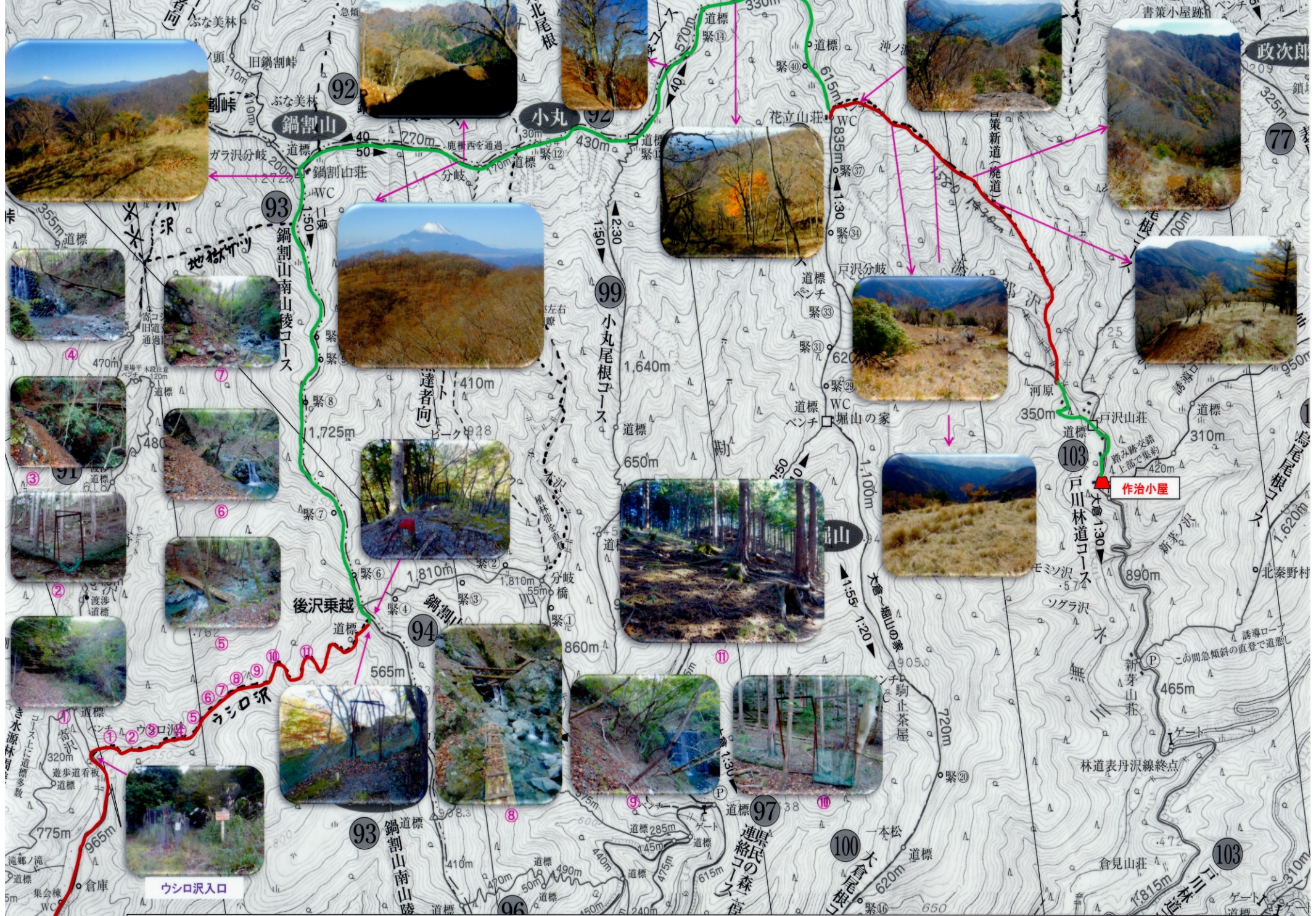
2018年5月5日(晴れ) 田中文夫

(注意)=鍋割峠~旧鍋割峠間は崩壊沢内横断につき初心者単独は危険

約 22 km

寄バス停から

大倉バス停へ



2017.11.12 寄(大橋) ~ ウシロ沢 ~ 鍋割山 ~ 大倉尾根(花立) ~ 源次郎尾根 ~ 作治小屋

(田中文夫=単独) 07:00 発 07:15 ~ 08:05 08:50~09:00 (通過) 10:00 ~ 10:45 11:05 着



約 22 km

県民の森～二俣～マルガヤ尾根～鍋割山稜～塔ノ岳～木ノ又小屋～木ノ又新道～書策新道～作治小屋～大倉
 09:17 09:36 10:00～11:46 12:46 13:10～13:23 14:59～15:23 16:33

表丹沢のヴァリエーション尾根 2018. 4. 12 小山 貴、田中文夫(晴れ)
(京大医学部放射線臨床教授) (ガイド)



天神尾根

源次郎尾根

表尾根

政次郎尾根

丹沢の上高地=作治小屋からの展望



危険=書策新道の崩壊地



危険=踏み跡不明な書策新道



書策新道=白竜ノ滝



新館

バーベキュー

本館

有料駐車場

< 作治小屋 >

11月23日 ~ 24日



大倉尾根

塔ノ岳

天神尾根

源次郎沢

水無川本谷

源次郎尾根

政次郎尾根

仲尾根



書策新道の紅葉



仲尾根からの富士山



落葉樹林の仲尾根



仲尾根の紅葉



富士山

大倉尾根

天神尾根

仲尾根

仲尾根からの富士山

源次郎尾根～台風で倒木

2018年台風24号



水無川本谷上5

丸太橋崩落



丸太橋崩落



道標流失

流失の残り部分



2019.10.12

台風19号 水無川本谷～書策新道横断箇所



白竜ノ滝上部の沢



本谷横断手前の崩壊沢横断



上部沢の中の曲がった道標



白竜ノ滝

2018.02.21 冬の書策新道

富士山

檜岳

雨山

雨山峠

コシバ沢

地獄ザリ

地獄ザリ

50年前は100mの岩壁だった

50年後は崩落し、以下の写真となる

雨山

コシバ沢

地獄ザリ ~ 丹沢唯一のアルペンムード



地獄ザリ ~ 50年前は100mの岩壁が崩壊

A photograph of a steep, rocky hillside. The slope is covered in greyish-brown soil and rocks, with sparse, dry vegetation. A large, dense green bush is prominent in the foreground. The background shows a line of trees on a ridge under a clear blue sky.

地獄ザリ ～ 50年前は100mの岩壁が崩壊



地獄ザリ ～ **50年前は100mの岩壁が崩壊**

鍋割山

鍋割山稜

マルガヤ尾根（冬）～ 928mピーク

鍋割山

鍋割山稜

マルガヤ尾根（初春）～ 928mピーク

鍋割山

鍋割山稜

マルガヤ尾根（秋）～ 928mピーク



烏尾山仲尾根 ~ 雨氷樹



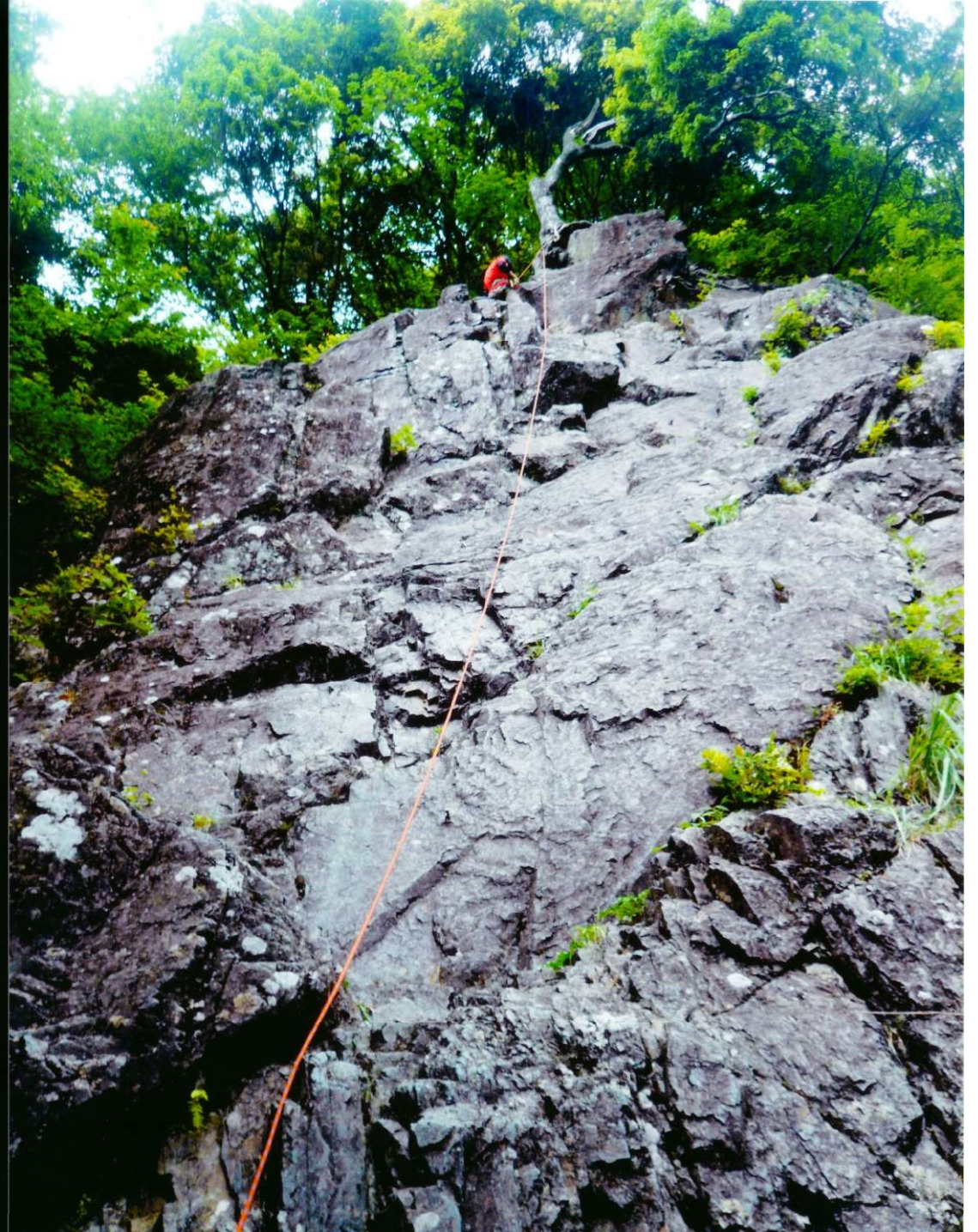
烏尾山仲尾根 ~ 雨氷で折れた枝

昭和8年頃より試掘が始まり、戦後までマンガン鉱を採掘

書策新道 ～ 大日鉱山・マンガン鉱採掘跡



書策新道 ~ 大日鉱山・マンガン鉱採掘跡



モミソ沢 ～ 懸垂岩（20m）で岩登り訓練

モミソ沢出合の懸垂岩で約20mの高さで20m

作治小屋案内

〈連絡先〉
 つづき
 090-1269-1424 : 津々木
 090-7400-9474 : 下坂
 しもさか



駐車場兼テント場



雪の表尾根

宿泊お問い合わせは
お電話下さい!!

素泊まり料金

(各1名様)

- ・大人 2,500円
- ・小学生 1,000円
- ・寝袋持参 1,500円
- ・テント持込 500円

駐車料金 500円

(1台1日)

- ・缶ビール 350円
- ・発泡酒 250円
- ・ジュース 180円
- ・カップ麺 250円
- ・ドリップコーヒー 200円

- ※ 夜は太陽光発電LED照明
- ※ 緊急連絡用携帯電話アンテナ設置



雪の作治小屋展望



第63回 作治小屋祭り (6月第1週)



朝の餅つき



新館で講演会



源次郎尾根から見下ろす作治小屋



LEDランプの夜



夜のパーベキューコーナー



手づくり講演-日本山岳文化学会、酒井会



ヘリポート兼資材置場
 (原則=立ち入り禁止)

作治小屋展望・・・丹沢の上高地



天 源 次 塔 表 政
神 郎 岳 尾 根 根 尾 郎 次
尾 根 根 尾 郎 次
根 根 尾 郎 次

ヘリポート兼資材置き場

作治小屋展望～丹沢の上高地

作治小屋太陽光発電照明設置完工

2017. 06. 25



太陽電池 (100V×2連)



完工後 協力者の昼食会



制御装置 (手製)
出力=AC100V 120W
光センサによる自動運転



上=制御装置
下=蓄電池
蓄電池=006V×2直列=0012V
103[AH/14h]



台所LED=8.2V



団樂コーナーLED=8.2V



1階就寝室LED=4.9V (写真)
出入口壁=深夜残置灯LED=1.4V (写っていない)



屋外バベキューコーナーLED=4.9V×2灯



左=団樂コーナーLED=8.2V
右=深夜残置灯LED=1.4V



左=団樂コーナー深夜残置LED=1.4V
右=団樂コーナー奥LED=4.9V



手前=1階展示室LED=4.9V
奥=深夜残置灯LED=1.4V

太陽光発電照明設置完工

完工年月 = 2017. 6. 25

作治小屋 = 荒木 英樹

津々木良助

松下 清

高橋八千代

協力者 = 岩橋 岳一

(岩橋電設社 代表取締役)

長坂 太郎

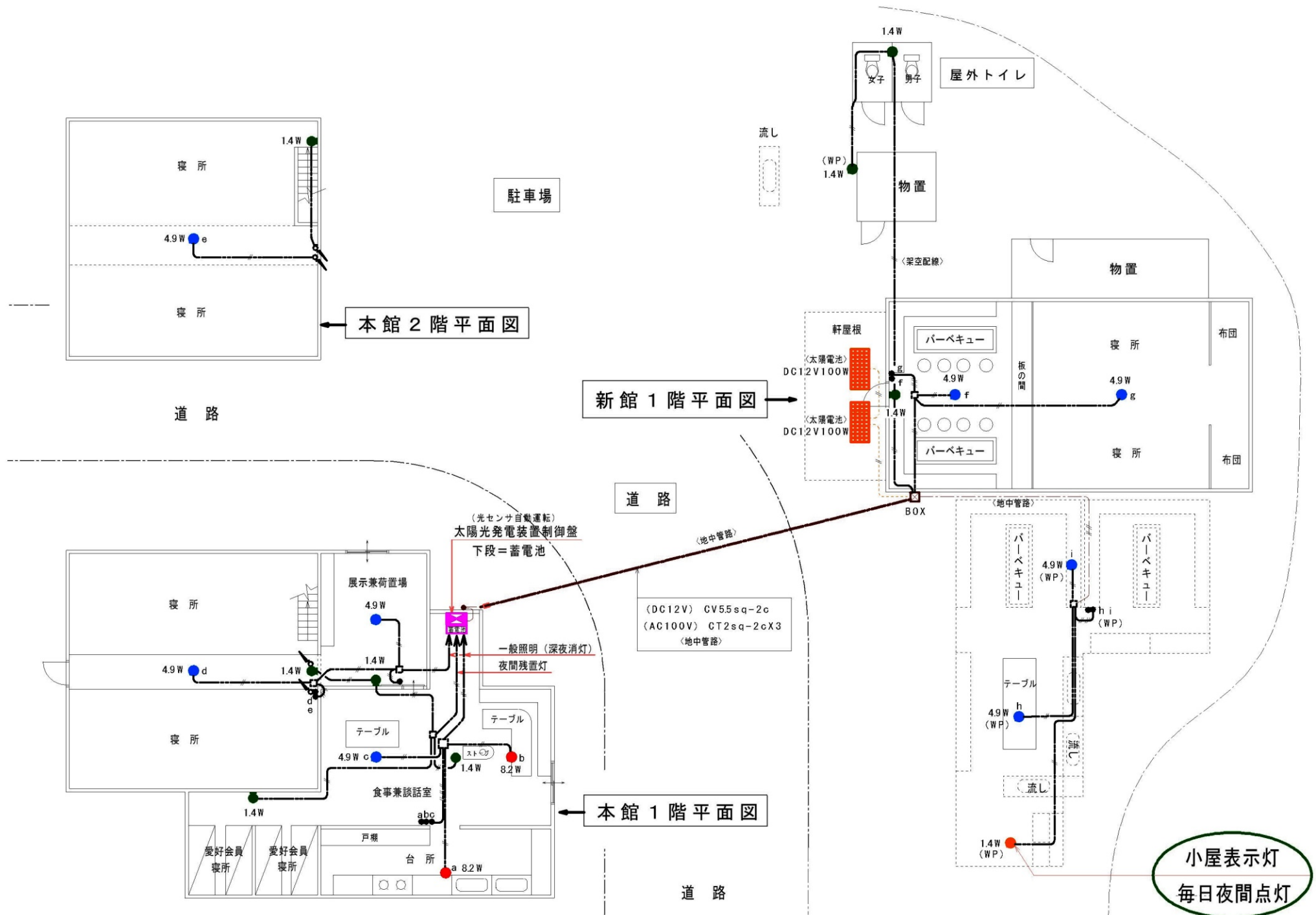
吉原 京子

設計製作者 = 田中 文夫

(建築設備士、JASMEC SENIOR第1回認定)

材料原価 = 約15万円

施工原価 = ボランティア

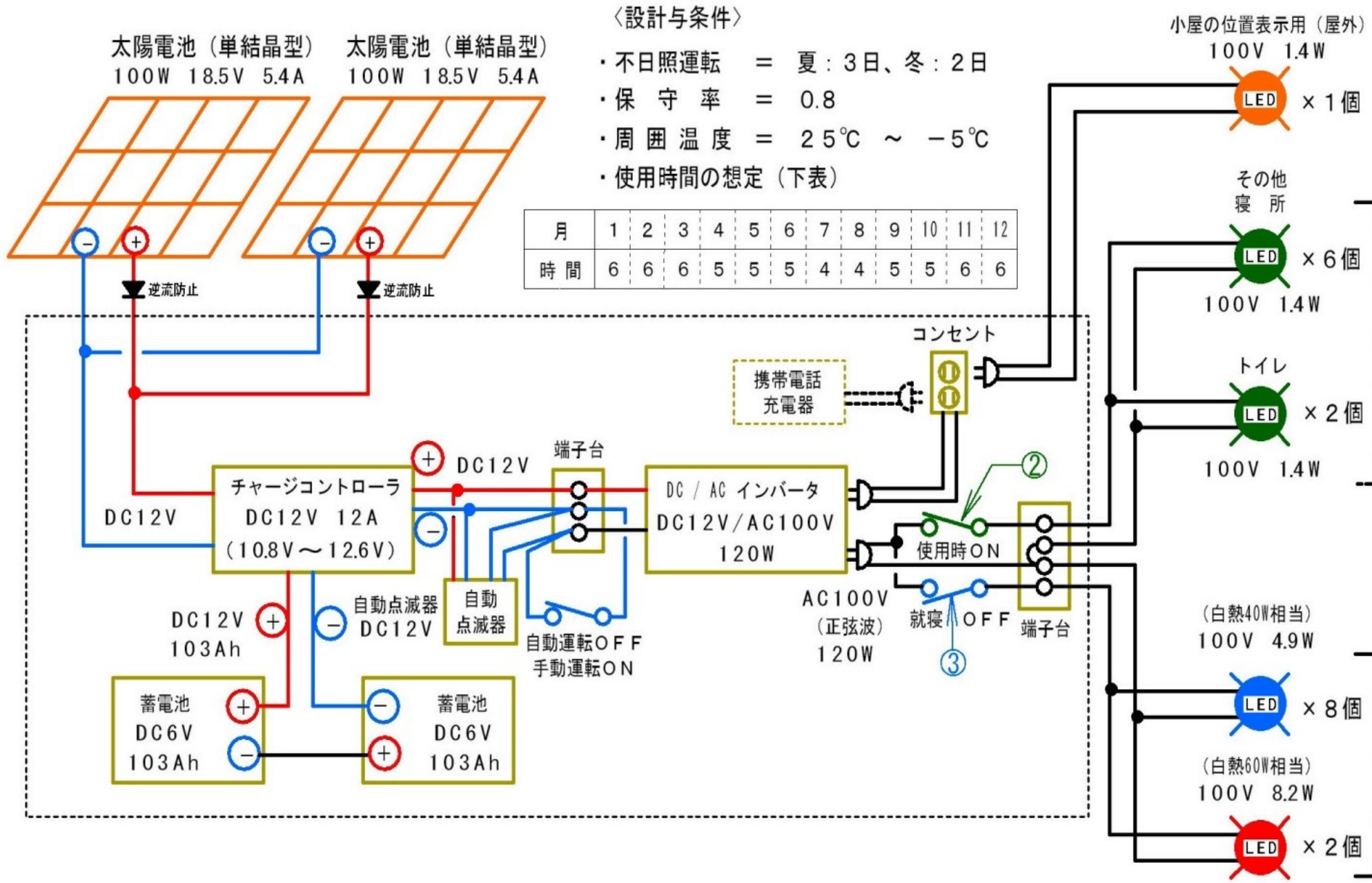


作治小屋 太陽光発電照明配線図 S = N S

毎日夜間点灯 ①

夜間点灯・深夜も点灯 ②

夜間点灯・深夜消灯 ③



〈設計と条件〉

- ・不日照運転 = 夏：3日、冬：2日
- ・保守率 = 0.8
- ・周囲温度 = 25℃ ~ -5℃
- ・使用時間の想定 (下表)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
時間	6	6	6	5	5	5	4	4	5	5	6	6

小屋の位置表示用 (屋外)
100V 1.4W

LED × 1個

その他
寝室
LED × 6個
100V 1.4W

トイレ
LED × 2個
100V 1.4W

(白熱40W相当)
100V 4.9W

LED × 8個

(白熱60W相当)
100V 8.2W

LED × 2個

作治小屋 太陽光発電装置電気系統図

蓄電池容量の計算

作治小屋 蓄電池容量計算(25°C)

① 小屋表示灯

毎日夜間に自動点灯

未明に自動消灯

② 夜間点灯・深夜も点灯

使用日の夜間に手動点灯

未明に自動消灯

③ 夜間点灯・深夜に消灯

使用日の夜間に手動点灯

消灯時刻に手動消灯

④ 小屋の退出時

②③スイッチを「切」にして帰る

計算 - 1				
記号	項目	定格		
I	負荷電流合計	[A]		
	i1	LED電球8.2W(0.68A)→計2個	1.360	4.640
		LED電球4.9W(0.41A)=計8個	3.280	
	i2	コントローラー	0.005	0.005
	i3	インバータ	0.680	0.680
i4	常夜電球1.4W(0.12A)=計9個	1.080	1.080	
K	容量換算係数	[25°C]		
	k1	LED照明	4H	4
	k2	コントローラー	10H	10
	k3	インバータ	10H	10
	k4	常夜電球1.4W(0.12A)=計5個	10H	10
L	保守率		0.8	
Df	不日照日数	[日]	2.7	
	Df=	$\frac{L \cdot Ca}{(k1 \cdot i1 + k2 \cdot i2 + k3 \cdot i3 + k4 \cdot i4) \times 1.17}$	= 2.7	
Ca	バッテリー容量	[AH] / 24h	103	
	Ca=	$\frac{(k1 \cdot i1 + k2 \cdot i2 + k3 \cdot i3 + k4 \cdot i4) \cdot (Df / 1.17)}{L}$	= 103.0	

作治小屋 太陽光発電 LED 照明記念 中村純二先生を囲む会

(2017. 7. 22~23)

(東京大学名誉教授、理学博士、第1~3次南極観測隊員)



団楽コーナーのLED照明



地場の新鮮野菜と京風お弁当の夕食



サイン入り中村先生ご著書を拝受
ほうおう座流星群観測余話と
第1~3次南極物語



地場の新鮮野菜と京風お弁当の夕食

<参加者>

中村 純二
中村 あや
小泉 義彦
高崎 広子
長坂 太郎
吉原 京子
津々木良助
高橋八千代
田中 文夫



軒上の太陽電池(12V 100W×2)

上部=制御装置 下部=蓄電池



1玉=9kgのスイカをカット



堰堤下の溪谷をのぞく



戸沢を散策

河原を歩く





3m 直近の **日本カモシカ** 2017.4 中津川：寄沢



戸川林道の アライグマ 2017.4

A photograph of a Japanese sika deer standing in a forest. The deer is facing left, with its body angled towards the camera. It has a brown coat with a white patch on its hindquarters and white markings on its legs. The ground is covered in brown pine needles and some moss. A large, dark tree trunk is visible on the right side of the frame. The background shows more trees and a rocky outcrop.

木ノ又尾根の シカ 2017.1

2018.04.22 春・源次郎尾根に咲く花



ミツバツツジ



マメザクラ







神奈川県立 秦野 戸川公園 2017.4



秦野戸川公園 おおすみ山居 2018. 11



源次郎尾根 タマゴ茸 2018. 9

食用 = 高級フランス・イタリア料理 食材



神奈川県花 ヤマユリ (7月)

ユリ科 ユリ属 根は食用

花言葉：純潔・無垢・威厳・荘厳



拡大



烏尾山仲尾根 ヒメウツギ (6月)

アジサイ科 ウツギ属 花言葉＝秘めた恋、秘密、潔白



鳥尾山仲尾根 ツマグロヒョウモン蝶 (9月)

タテバチヨウ科



拡大

霧の烏尾山仲尾根 ヤマボウシ (6月)

ミズキ科 ミズキ属 花言葉＝友情



オオジシバリ (7月)

キク科 ニガナ属

花言葉：忍耐、人知れぬ努力



ヤマオダマキ (6月)

キンポウゲ科 オダマキ属

花言葉：断固として戦う



イワシジャン

10月

リンドウ

10月



ホトギス

10月





センブリ (10月)



リンドウ科 センブリ属 当薬(腹痛)
花言葉：義侠愛(弱き者を助ける)



ゲンショウコ 9月



ヤマホトトギス 10月



リュウノウギク 10月



ダイヤモンドソウ 10月



アキノキリンソウ 10月

キク科 アキノキリンソウ属

花言葉：気を付けての心を伝える

丹沢名物 ヒル 5月~10月





吸血跡



(塩が一番効果あり)

(効果は少ない)

防除剤



ズボンに上がる

令和天皇即位礼正殿の儀
2019.10.22 (降雪)



令和元年初冠雪の富士山 2019.10.26撮影 = マルガヤ尾根

**長時間のご静聴
誠にありがとうございました**

講話 = in 日本山岳会 (三水会)

2019年11月20日 (水)

田 中 文 夫